

経済倶楽部便り

◆東京◆ 緊急事態宣言の解除や感染者数の大

幅な減少で11月の講演会からは通常開催に戻し、これまでの入場制限も撤廃しました。最初の講師として近代史研究家の鈴木荘一氏をお呼びしました。現在、渋沢栄一の大河ドラマが放映中でもあり、幕末・明治維新への関心が続いているため、改めて「徳川慶喜の明治維新」と題してご講演頂きました。講師は元興銀マンですが、当方、不勉強でお名前を存じ上げない方でしたが、何回かご連絡するうちに当方が東洋経済記者時代に産業調査で何度も取材していたことを思い出し、その脱サラと変身ぶりに驚きました。

ご講演は1月号に掲載します。

1月の定例講演会講師は東京大学大学院教授の藤原帰一氏、政治学者の御厨貴氏、立正大学学長の吉川洋氏、元経産省官僚で政策コンサルタントの古賀茂明氏です。

◆中部◆ 11月の講師は地球温暖化対応が急務の自動車業界について、内外の自動車業界に詳しい自動車アナリストの中西孝樹氏にお願いしました。欧州主導で進む電気自動車中心のルール作りの動きに対して、ハイブリッド車全盛の日本が抱える課題と独自の対応について詳細にお話頂きました。

1月の講師はノンフィクション作家で評論家の塩田潮氏と中国問題研究家の津上俊哉氏です。

(日暮良一)